

GO GREEN 緑でいこう

地球ひとつで生きる



5/3有明防災公園での全国憲法集会で、緑の党運営委員の杉原浩司が武器輸出反対ネットワーク(NAJAT)代表としてリレートークでスピーチ。



松本市花時計公園での「本気でとめる戦争! 5.3中市民大集会」で運営委員長の八木聡が緑の党としてスピーチ。他、全国各地の憲法イベントに参加&アピール。



6/13韓国統一自治体選挙。コ・ウニョン済州道知事候補。緑の党は当選者は出せなかったが、エコ、フェミニズム、動物権などを掲げた若者・女性候補が突風を起した。

緑の党選挙スクール開校イベント

議会&選挙が変われば社会は変わる 比例代表制が女性議員を増やした北欧から学ぶ

来年の統一自治体選挙に向けた選挙スクールの開校イベントとして、三井マリ子さんを招いて講演会を開催しました。いきいきとしたノルウェーのお話と、ほど遠い日本の現場からの自治体議員のコメントや会場との質疑応答も笑いが絶えず、厳しい現状ながらも勇気と元気をいただくことができました。(2018.5.26@東京)



(左から) 久保あつこ旭川市議、清野和彦秩父市議、坂井えつ子小金井市議、重松宏国立市議



三井マリ子さん
女性政策研究家、元東京都議、
全国フェミニスト議員連盟世話
人。著書『ノルウェーを変えた
髭のノラ』『ママは大臣パパ育
児』他

オスロは緑の党が第3党
オスロ市では緑の党が第3党です。左派の連立政権で、緑の党もはいつています。ベトナム移民家庭に生まれた女性が環境問題の副市長。いわば環境大臣です。自転車都市宣言の公約を進めています。ノルウェーの緑の党は、80年代の創設以来、国政に挑戦し続け、昨秋初めて当選者を出しました。地方議会では強く、その力が国会議員を誕生させたと言われています。政党の土台は地方議会ですね。当選者は31歳の女性。「選挙が終わったら育児休暇をとる」と公言して当選したその日に実行。比例制では同じ選挙区と同じ政党の次点候補が代理議員となるので、心配ないんです。

北欧の選挙はすべて比例代表制
ダボス会議の男女間格差ランキングで北欧4カ国はトップ10に入っています。そのトップ10の1位から9位までの国全てが比例代表制による選挙であることに注目してください。日本は114位。比例代表制は政党に投票し、得票率に比例して議席の数が決まります。得票率と議席数はほぼ同じ。一方、小選挙区制の日本では、現在、自民党は4割台の得票率で7〜8割の議席を取るわけです。

ルウェーを中心に、比例代表制選挙の政治って、こんなんだよというお話をお願いします。わたしたちの未来や夢の実現のためのヒントにしてください。北欧には「北欧協議会」があり、外交と軍事以外、環境、福祉、人権政策などは共同歩調をとっていますので、ノルウェーから北欧全体も類推できます。

大プロジェクト「スクールエレクトション」
高校生になると、生徒会が政党に大討論会への招待状を出します。校内で政党同士の選挙討論会をやるんです。討論会1〜2時間、その後、校内に設けられた政党の選挙スタンド前で質問や討論。高校生が政党に議論を挑むわけです。生徒会主催の自主参加なのに下校する生徒はなく、非常に熱心。政策をユーモア交じりに語った政党には拍手を惜しまない。楽しそうにやっています。

選挙は民主主義の生きた教科書
スーパーでは、「国会議員選挙のためのお菓子」も売っています。「赤は左派、青は右派」にあわせた赤と青のクッキーで「あなたはどっちに投票?」と袋に書かれてます。選挙を胃袋から実感、って感じですよ。子どもの頃から「民主主義」を身近に体感できるのは、学校教育が政治をタブー視しないからです。小5になると、授業で、選挙中、政党の選挙事務所へ出かけて行って、自分たちの暮らしにどの政党がマッチしているかを調査します。調査を終えたら学校に戻って討論しどの政党が良いかを決めます。

オスロは緑の党が第3党
スーパードでは、「国会議員選挙のためのお菓子」も売っています。「赤は左派、青は右派」にあわせた赤と青のクッキーで「あなたはどっちに投票?」と袋に書かれてます。選挙を胃袋から実感、って感じですよ。子どもの頃から「民主主義」を身近に体感できるのは、学校教育が政治をタブー視しないからです。小5になると、授業で、選挙中、政党の選挙事務所へ出かけて行って、自分たちの暮らしにどの政党がマッチしているかを調査します。調査を終えたら学校に戻って討論しどの政党が良いかを決めます。

目からウロコ!ノルウェーの選挙制度
選挙制度の比較表を見てください。投票日は決まっています、解散もないので予定を組みやすい。女性議員は41%。議席の26倍の人が立候補し4割以上が女性。各政党のリストに候補者が多数必要ですから、候補者は特別の人じゃないんです。「供託金」もなし。日本は300万円!「貧乏人は立候補するな!」ってこと!?

衆議院(第1院)	ノルウェー	日本
投票日	4年ごと9月第1か第2月曜	解散後40日以内(昨年10月22日)
議員数(女性)	169人(♀41%)	465人(♀10%)
与党議員(割合)	88人(52%)	313人(67%、3分の2以上)
候補者届出締切	選挙年の3月31日	選挙公示日
選挙権・被選挙権	ともに18歳以上	18歳以上・25歳以上
候補選定	県政党の推薦委→推薦会議	規定なし
選挙区(定数)	19県(17人から4人)	289区(1人ずつ)
投票方法	政党を選ぶ	候補者名を自書(比例:政党名)
選挙期間	なし	12日間
選挙運動	ほぼ何でも自由にできる	べからず選挙
事前投票	ほぼ2か月	公示日翌日から投票日前日まで
立候補者	4438人(26倍)(♀42%)	1180人(2.5倍)(♀17.7%)
投票率	78.2%(だいたい8割近い)	50%台(過去3回とも)
死に票	ほぼゼロ	2661万票
供託金	なし	300万円

作成: 三井マリ子

クオーター制: 比例代表制が社会を変えた
クオーター制は「全ての物事の決定機関に一方の性が4割いなくてはならない」という厳しい制度です。日本で施行された「政治分野における男女共同参画推進法」はクオーター制ではありません。ノルウェーでは、ノーベル平和賞選定委員会の半数は女性。大企業の取締役会も、その4割が女性です。そうしないと開かれないう。地方議会も地方自治法が改正されてクオーター制を課しています。女性が58%という市議会もあって、「男のクオーターをくつらなくては!」と男性議員が私に言っていました。

クオーター制: 比例代表制が社会を変えた
クオーター制は「全ての物事の決定機関に一方の性が4割いなくてはならない」という厳しい制度です。日本で施行された「政治分野における男女共同参画推進法」はクオーター制ではありません。ノルウェーでは、ノーベル平和賞選定委員会の半数は女性。大企業の取締役会も、その4割が女性です。そうしないと開かれないう。地方議会も地方自治法が改正されてクオーター制を課しています。女性が58%という市議会もあって、「男のクオーターをくつらなくては!」と男性議員が私に言っていました。

大人顔負け。投票結果はマスコミが大々的に報道します。
多様な候補者がチャレンジできる
政党を選ぶ選挙ですので、候補者にはお金は不要。ですから高校生も立候補できます。リストの上位なら高校生でも当選できます。今回、地球温暖化を訴える18歳の女子高生が、緑の党から国会議員に立候補していました。数年前には、オスロ市議会議員に当選した高校生がいました。タクシードライバーを父に持つインド移民の娘でした。多様性そのものですね!

「政治分野における男女共同参画推進法」の理念を実現しよう!

「政治分野における男女共同参画の推進に関する法律」(「推進法」)が、衆議院の全議員の賛成で可決成立し、5月23日に施行されました。

1946年の衆院選で39年の女性議員が誕生してからの10.1%で1993か国中158位(本年6月列国議会同盟発表、下院です。「推進法」は、この現状を変えるための女性の政治参画に関する初の法制化です。

「推進法」では、国会議員と自治体議員の男女候補者の数を「できる限り均等」にする政党の努力と国・地方公共団体の責務が定められました。各政党に「候補者を男女半々にしないのは違法」と具体的対策を求めることができます。

しかし残念ながら罰則はなく、強制力を持たない理念法です。実効性を高める法制度の整備、公職選挙法の改正など具体的な取り組みが必要です。

女性議員が増えることこそ、多様性を尊重する社会の実現、民主主義の成熟と強化の大前提です。緑の党は「推進法」の理念の実現に向けて積極的に取り組みます。

写真: 法案可決成立直後の国会議事堂前にて

池田ちかこ候補 惜敗

新潟県知事選(6月10日)で、私たちも選対の一角を担った野党系の池田ちかこ候補には全国から熱い支援が寄せられました。しかし、自公支持の花角英世(元官僚)陣営による合法・非合法の圧倒的物量作戦などに加え、「脱原発」「検証の継続」を掲げることによって争点も曖昧にされ、池田候補は50万票を超える結果を出したものの、惜敗しました。ところが、去る6月15日、花角新知事は公の場で「再稼働の可能性は当然ありうる」と明言しました。「脱原発」を実現する意思などないことが改めて明らかになりました

みなさんのご支援とご協力に心から感謝し、期待に応えられなかったことをお詫びします。そして、原発再稼働をストップさせる運動を強めるとともに、市民のみなさんや他の野党と連携し、今回の選挙戦の教訓を活かし、今後がんばっていきます。

中山均(新潟市議/共同代表)



6/2新潟駅前、野党6党共同街宣。沿道を埋めつくす支援者



改ざん・ねつ造・隠ぺいの安倍政権にNO!

憲法の理念を守り、民主的な社会を創っていくために



民主主義の根幹が揺らいでいる

今通常国会では、森友・加計学園問題で改ざん・ねつ造・隠ぺいが次々明らかになりました。疑惑がいつそう深まり、民主主義の根幹を揺るがすような深刻な事態となつているにもかかわらず、政権・与党は何ら責任を取らないまま、安倍首相は居直り続けています。

政府・与党は、新潟県知事選への影響も避けるため、選挙結果が出たタイミングまで待たうえて、ギャング依存症を促進するカジノを含む統合型リゾート(IR)法案を強行採決させ、続いて一気に、長時間労働を放置・許容する「働き方改革」一括法案も成立を強行させようとしています。そのために6月20日、政権与党は野党の反対を押し切り、何の説明もなく会期延長を決定しました。会期中に成立できなかったこと自体、これらの法案に合理性がないことを示していますが、延長は徹底審議が目的ではなく、世論にも大きな反発のあるこれらの法案を強引に成立させるためだけの暴挙です。

命と暮らしに逆行する安倍政権

この2つの法案は、人の命や暮らしよりも「もうけ」や「経済成長」を優先した象徴的なものです。それは、環境汚染や国内外の人々への深刻な影響を省みない原発再稼働と海外輸出、そして、戦争でもうけようとする武器輸出を進めてきた

安倍政権の姿勢の延長線上にあり、民主主義の根幹をないがしろにする強権的な政治と一体のもので、唐突に提案されている参院選挙の合区解消を目的にした公選法改正法案も自民党の党利党略のための欺瞞的な法案であり、選挙制度の私物化です。

統一自治体選挙・参院選挙が試金石

市民の声や野党の奮闘は政権を大きく追い詰めたものの、安倍・自民党1強体制の下、国会での野党による追及手段も時間も制約があり、政権の不祥事がこれだけ明らかになつていながらもかわらず、政権を倒すまでには至っていません。新潟県知事選で追い詰めることができず、自民党総裁選挙も安倍3選の見込みが強まり、憲法改悪が改めて浮上する可能性も高まっています。

「平和を大切に政治」「命と暮らしを優先する政治」「民主主義の価値を尊重する政治」への転換を実現するために、安倍政権を終わらせる新たな政治的活動と運動を作りあげていくことが求められています。

来年の統一自治体選挙を頂点とする各地の自治体選挙、そして参院選はそのための大きな政治的節目、試金石です。市民や他の野党とも連携し、野党、そして緑・リベラル勢力の躍進をめざしましょう。緑の党グリーンズジャパン運営委員会

4月～9月の自治体選挙

4/15	北海道士別市議選	国忠たかし	現	会員推薦	当選
	東京都練馬区議補選	高口ようこ	新	非会員推薦	当選
4/22	埼玉県秩父市議選	清野和彦	現	会員支持	当選
	埼玉県久喜市議選	猪股和雄	現	会員推薦	当選
6/10	大分県臼杵市議選	匹田くみこ	新	サポーター推薦	当選
	新潟県知事選	池田ちかこ	新	非会員推薦	残念
6/17	東京都中野区長選	酒井直人	新	非会員推薦	当選
	東京都立川市議選	山本ようすけ	新	会員推薦	当選
6/24	東京都杉並区長選	三浦ゆうや	新	非会員推薦	残念
9/2	兵庫県高砂市議選	井奥まさき	現	会員公認	



6/17大激戦の立川市議選で27歳の山本ようすけ候補が当選。大沢ゆたか市議から貴重な市民派の議席を引き継ぐ。

自治体選挙に挑戦しよう!

思いをカタチにする選挙必勝マニュアル

- ◆基礎編 選挙の基礎知識と本番までの大きな流れ
新人候補の3つの勘違い/お金/公選法
- ◆応用編 あなたの選挙スタイル・選挙プラン
選挙戦略/票の獲得/キャッチコピー&重点政策
- ◆必勝編 表現力が当落を決める!
有権者にアピールする8つの方法/インターネットの活用
- ◆実践編 スケジュールに沿って
6か月前から、思いを投票につなげる選挙期間まで
- ◆番外編 現職議員へのアドバイス
「勝負チラシ」の重要性/効率的選挙
- ◆パネルディスカッション
もっとエコロジカル!もっとリベラルな社会へ
～6人の自治体議員からの選挙と議会活動の体験談とアドバイス

「選挙必勝マニュアル」改訂版発行

長年ご好評いただいた「市民派候補のための選挙必勝マニュアル」にカラー資料を大幅追加、公選法改正にも対応。立候補する人もしない人も、サポートする人も迷っている人も、これを読めば「選挙」がわかります。来年の統一自治体選挙に向けた必読書です。



A4判 64ページ・フルカラー
頒価 2,000円(10冊以上1冊1,500円)
編集/発行: 緑の党グリーンズジャパン

緑の党選挙スクール開講中!

東京: 7/14、28、8/26 名古屋: 7/14、8/25、9/22
関西: 8/10、28、9/24

詳細はお問い合わせください

活動紹介 動物・環境・健康

ミートフリー・キャンペーン始まりました!

「週に1日だけ動物性食品を食べず、動物や環境や健康について考えてみよう」とポール・マッカートニーさんが提唱したミートフリー運動は世界中に広がっています。

6月16日のキャンペーンキックオフイベント(@高円寺グレイン)は、外国籍の方など多様なみなさんにご来場いただき満員御礼となりました。上映した「フォークス・オーバー・ナイズ ～命を救う食卓革命」は、アメリカで名高い医者や研究者たちが具

体的なデータを用いて、肉食から菜食に切り替え病気のリスクを減らすことを証明する内容でした。美味しいミートフリー料理とデザート、そしてアニマルライツミュージシャン・幸菜さんのライブも大いに楽しみました。

ミートフリー・キャンペーンは9月までの3ヶ月間、毎月ミートフリーパーティを開催します。キャンペーンにモニター参加して下さる「スマイリーズ(通称)」を募集しています。興味のある方はお問い合わせください。



緑の党「動物と人の幸せプロジェクトチーム」
会津素子(千葉県成田市議) 090-6704-9996

緑の党 <http://greens.gr.jp>
グリーンズジャパン E-Mail greens@greens.gr.jp

〒165-0026
東京都中野区新井2-7-10サンファスト301
TEL 03-5364-9010 FAX 03-3389-0636

会員・サポーター募集しています
カンパにご協力を!

城南信用金庫 高円寺支店(店番号036) 普通預金
口座番号:340392 名称:緑の党グリーンズジャパン

郵便口座 ゆうちょ銀行
口座番号:00100-9-262967 名称:緑の党
他金融機関からのお振り込みの場合 当座預金
店名:〇一九(ゼロイチキュー) 口座番号:262967